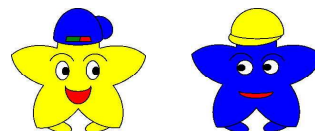


忠別川



東光小学校だより

平成30年12月21日

No. 9

「気づき行動する力」が育ってきています

校長 小林 和 俊

今日で2学期が終了します。9月上旬には胆振東部地震によるブラックアウトのため、市内の小中学校すべてが2日間の臨時休校となりました。本校では、地域の停電により固定電話の不通、ポテトのサーバーがダウンし、インターネット、メールが使用できなくなり、各家庭への連絡が取れないなどの事態になりました。保護者への迅速で正確な連絡について、連絡体制の早急な見直しの必要性を実感し、年度の途中でしたが、連絡メールをラインズの「連絡メール2」（学校が停電になっても教頭スマホから連絡メール発信可能）に変更しました。現在、全校児童の97%の保護者の皆様に加入いただきました。今後も、子どもたちの安全を最優先し、暴風雪、水害などの自然災害、不審者、インフルエンザ等の連絡に活用して参りたいと考えております。

また、先日実施した学校評価について、大変お忙しい中ご協力ありがとうございました。よせられたご意見をまとめ、次年度の教育活動に役立てていきたいと考えております。現在、平成32年度の学習指導要領の全面実施にむけ、「子どもたちの学びやすい環境を整えるため」、「教師が子どもたちとしっかりと向き合う時間を確保するため」に、授業時数確保や学校評価による本校の現状と課題、今後の児童数、学級数、教員数の大幅な減少などの地域の実態を考慮しながら、教育活動、学校行事全体を見直し、改善にむけて検討を進めています。保護者の皆様に直接関係するスケジュールに係わる変更点はできるだけ早くお知らせしていきたいと考えております。ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、今月に入ってインフルエンザの猛威により5年1組が、5日間の学級閉鎖となりましたが、今学期、予定していた教育活動を無事、終えることができました。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。



子どもたちは、様々な学習に前向きに取り組み大きく成長しています。特に「気づき行動する力」が育ってきています。目的や意義を意識し、自ら考え、見通しをもってよりよく解決できるようになってきました。また、道徳や様々な活動を通して、他を「思いやる心」も育ってきています。そして、この子どもたちは、学習成績も伸びてきています。子どもたちが、周りとかかわりをもち切磋琢磨しながら、心身共によりよく成長できるよう、教職員が一丸となって教育活動を進めて参りたいと思います。

明日から冬休みに入ります。今年の生活を振り返り、新しい年への希望と新たな決意をもって、2019年のスタートを力強く切ってほしいと願っております。

冬型の交通事故や不審者、インターネット、金銭などのトラブルが発生しております。子どもたちがトラブルに巻き込まれないようご家庭でも十分ご指導ください。

